

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 宙 組	5 月 27 日 ( 火 )	白木 優香

● 実施計画

活動テーマ		
サイエンス ～天気～ 虹の色は何色？		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
雨の後に虫エができる喜び、友達や保育者にも共有している。 また、雨がやると「虫エできるかな？」と空を見上げる姿がある。		
活動スケジュール		環境設定・準備物
時間	内容	
10:35 - 10:40	<ul style="list-style-type: none"> <li>くもり、雨、雪、日青れ以外の天気や空の現象は何か考え発表する。</li> <li>「イセに知っている天気はあるかな？」と問い掛けたり、①②での活動かを振り返られるような問いもかける。</li> <li>虫エについての意見が出たら、今回は虫エについて活動することを伝える。</li> <li>虫エを見たことはあるか、虫エはどんな色か考え発表する。「虫エはどんな時に見えるかな？」と問い掛け、実体験から天気との結びつきに発展するよう援助する。</li> </ul>	<環境設定> ・室内で話し合う時間を確保する。 ・実験が安全に行えるスペースを確保する。  <準備物> ・虫エのイラスト ・色えんぴつ ・ペットボトル ・水 ・懐中電灯、アルミホイル ・白い紙 ・ホワイトボード、マーカー ・マグネット  <実験> ① ペットボトルに水を入れ、アルミホイルを付けた懐中電灯の光がペットボトルの反射する位置に紙を置く。 ② 光とペットボトルの角度を見ながら紙の位置を変え、虫エの写る場所を探る。
10:40 - 10:50	<ul style="list-style-type: none"> <li>虫エの色や太陽の光について知っていることを共有する。虫エの色を予測して紙を描いてみる。色は固定せず、それぞれが感じる色で描いてよいことを伝える。</li> <li>できあがった紙をみんなで見える。</li> </ul>	
10:50 - 11:05	<ul style="list-style-type: none"> <li>アルミホイル、懐中電灯、ペットボトルで実験を行う。</li> <li>手順を知らせ、どうなるか考え、発表する。</li> <li>光を水に通すことで虫エが現れることを観察し、実際に虫エを作る体験をする。</li> <li>「何ができたかな？」「虫エができたね。何色かな？」と問い、視点や試行錯誤が広がるようにする。</li> </ul>	

11:05-11:15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虫エができるしくみを振り返り、光と色の関係について話し合う。</li> <li>・実際の虫エの写真を見て、どんな時にできるか考える。</li> <li>・「雨上がりがいいね」「虫エがある時、太陽はいるかな?」と問い、水と光によつて虫エができていることに気付けるよう工夫する。</li> <li>・次回は太陽について調べてみることを提案する。</li> </ul>	
-------------	---	--

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<ul style="list-style-type: none"> <li>・虫エのしくみ、光の色について学ぶ機会を作った。</li> <li>・虫エの光の色について予想し、実験を行い、光が氷を通ると虫エが表れることを確認した。</li> </ul>	<p>&lt;子どもの姿・声&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「虫エができた!」と喜び、驚きの声を上げていた。</li> <li>・「太陽の光は白いのに、虫エの色になる不思議だね」と話し合っていた。</li> </ul> <p>&lt;保育者との関わり&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「どうして虫エの色が出るのかな?」と質問を投げかけた。</li> <li>・子どもたちに「自分で見たことを話してみよう」と伝え、意見を自由に表現できるようにした。</li> </ul>

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちはグループの友達とスムーズに意見を交わし、考えていた。友達が塗った虫エと見比べ、「隣の色はどうなってるのかな」と新たな疑問をもつ児もいて良かった。</li> <li>・子どもたちが自分の手で実験すること、興味を深めたり疑問を解決したりすることができた。</li> </ul>	<p>大人でも虫エの色が順番を聞かなくても知らずい、中からわかるのでは、ないでしょうか。疑問を持つことは、とても大切な事であり、よすよすこれから、どのような疑問が出てくるのか、楽しみですね。</p>

実施クラス	実施日	実施保育者名
5歳児 宙組	9月 11日(木)	白木優香

● 実施計画

活動テーマ		
たべもの～食べ～ 食べ物の働きを調べてみよう		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
三色食品群を見ながら 食事しているため、それぞれの食材の働きを知り 興味を持っている。		
活動スケジュール		環境設定・準備物
時間	内容	
11:00- 11:10	・前回の活動を振り返る。	<b>【環境設定】</b> ・調べたり、興味関心を深めたりできるように、図鑑やタブレットを活用できる環境を用意する。 ・子どもたちが自由に発言できる雰囲気を作る。 ・正解を求めるのではなく、予想し考える態度を大切にする。
11:10- 11:30	・食べ物の働きを調べてみようという提案する。	
11:30- 11:40	・必要な用具を用意する。	
	・調べたい食材を選ぶ。	<b>【活動使用教材】</b> ・iPad、タブレット、PCなど(保育者が調べるために使用) ・絵本 ・食材の写真 ・筆記用具(鉛筆、色鉛筆、カラーペンなど) ・ホワイトボード ・ホワイトボードマーカー
	・調べた食材の働きを調べる。	
11:30- 11:40	・調べた内容をまとめ、発表する。	<b>【事前準備】</b> ・食材の写真を印刷しておく。
	・完成した水探索マップをみて、今回の活動を振り返る。	

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 三色食品群のイラストを見ながら、食べ物にはそれぞれ働きがあることを知り調べてみる。</li> <li>・ この働きをする食べ物は何か？とリスト形式で食べ物の働きを探究していく。</li> <li>・ 好きな食材を選び、グループごとにまとめた。</li> </ul>	<p>&lt;子どもの姿・声&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ごはんとパンは同じなんだ」と働きに驚いていた。</li> <li>・ 友達の意見を聞き、「緑のところには野菜が多いね」と気付いていた。</li> </ul> <p>&lt;保育者との関わり&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 三色食品群のイラストを見て「同じ色のところは共通点があるかな？」と問い掛け考えられるようにした。</li> </ul>

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 三色食品群を白頭から見ていたことで、色ごとの分類はスムーズにできた。共通点を考えてみることで、思考力や発想力が育っていると感じた。</li> <li>・ 自分の体と食べ物が密接に関わっていることに気付く、食べ物や体への興味を深めることができた。</li> </ul>	<p>白頭からの習慣が身に付くという事は、大事な事ですね。これから、習慣の大切さを継続して欲しいです。</p>

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 そら 組	10 月 10 日 ( 金 )	白木優香

## ● 実施計画

活動テーマ		環境設定 ・ 準備物
<p>アート ~色のふれき~ これは何色？</p>		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
<p>お絵描きの際は好きな色の服を描いたし、「ピンクの花が「好き」「青い服にしよう」 など好みの色について話し姿が見える。</p>		
時間	内容	環境設定 ・ 準備物
10:00-10:15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いろおに」をして、保育室内の色に関心をもたせる。</li> <li>・色の原料の写真から何色ができるかを考える。</li> <li>・12色の色画用紙の中から、好きな1色を選ぶ。</li> <li>・選んだ理由を考え、なぜその色が好きなのかを考える。</li> </ul>	<p>【環境設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちがたくさん色を見つけやすいように、環境を用意する。</li> <li>・子どもたちが自由に発言できる雰囲気を作る。</li> </ul> <p>【準備物】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12色(赤、橙、黄色、ピンク、青、水色、緑、紫、白、黒、灰色、茶)の色画用紙</li> <li>・赤青黄色紫白黒などの原料の写真(赤…カイガラムシ、青…ラピスラズリ、黄色…クチナシ、紫…アカニシ貝、白…ハマグリ、黒…墨)</li> <li>・寒色暖色中間色の色見本</li> </ul>
10:15~10:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・白い画用紙を選んだ色と同じ色にしてみようと問いかける。</li> <li>・素材から何色になるのかを想像して白画用紙にこすりつける。</li> </ul>	<p>【事前準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・赤、橙、黄色、ピンク、青、水色、緑、紫、白、黒、灰色、茶色の八つ切り画用紙→16等分に切り分ける。(人数分またはグループで1セット)</li> </ul>
10:30~10:45	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色の持つ印象について話し合う。</li> <li>・「どの色が楽しい?」「どの色が悲しい?」など、色彩心理学の視点から色の効果を体感する。</li> <li>・「赤は元気が出る色?それとも静かな色?」など、感じ方の違いを共有する。</li> <li>・学んだ色の働きや面白さについて発表し合う。</li> <li>・生活の中で色を意識する機会を増やすよう促す。</li> <li>・身の回りの色に注目し、それぞれが持つ意味や効果を考える。</li> <li>・「今日学んだ色のことを、これからどんな場面で思い出せるかな?」と問いかけ、生活と結びつける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色の効果、寒色暖色中間色について事前に学習して理解を深めておく。</li> <li>・色の原料について事前に学習して理解を深めておく。</li> <li>・赤青黄色紫白黒などの原料の写真。(赤…カイガラムシ、青…ラピスラズリ、黄色…クチナシ、紫…アカニシ貝、白…ハマグリ、黒…墨)</li> <li>・寒色暖色中間色の色見本をプリントする。</li> <li>・白い画用紙と着色が期待できる素材を複数用意しておく。</li> <li>・色彩心理学に関する資料を用意し、理解しておく。</li> </ul>

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<p>12色の中から似ている色、遠い色を探して並べた。色彩心理についての話を聞き、「あたたかい色」「寒い色」と分類した。友達と色の印象を話し合い、色の持つ交効果を実感していた。</p> <p>実際に12色の中から好きな色とその理由を考えることで、それぞれの色への理解を深めた。</p>	<p>&lt;子どもの姿・声&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「火もおひさまも あたたかい色だ」と気づき、暖色がなぜ暖と感じるのであるかを考えていた。</li> <li>・好きな色と理由について、友達と相談しながら考え、言葉にしていた。</li> </ul> <p>&lt;保育者との関わり&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「この色を見るとどんな気持ちになっちゃうかな?」と問いかけた。考えるきっかけにはよようにした。</li> <li>・暖かいもの、寒いものには何かがあるか問いかけた。暖色と寒色について気づけるようにした。</li> </ul>

● 振り返り

保育者側の気づき	園長からの感想・助言内容
<p>自分の好きな色の理由を考えてみることで、色への理解が深まり、色への興味も持つことができていた。</p> <p>活動後、自由遊びの際にお絵描きをしていた児が「ほっぺをピンクで塗ると赤で塗ると、ちよっと違うね」と話していて、色への理解が深められたと感じた。</p>	<p>原色本来の持つイメージと子どもたちの心理的イメージが、重なった様子が見えられた。視覚から入るイメージが、そこからどうふうにはかんでいくか? 楽しみあり。</p>